

PRESS RELEASE
報道関係各位

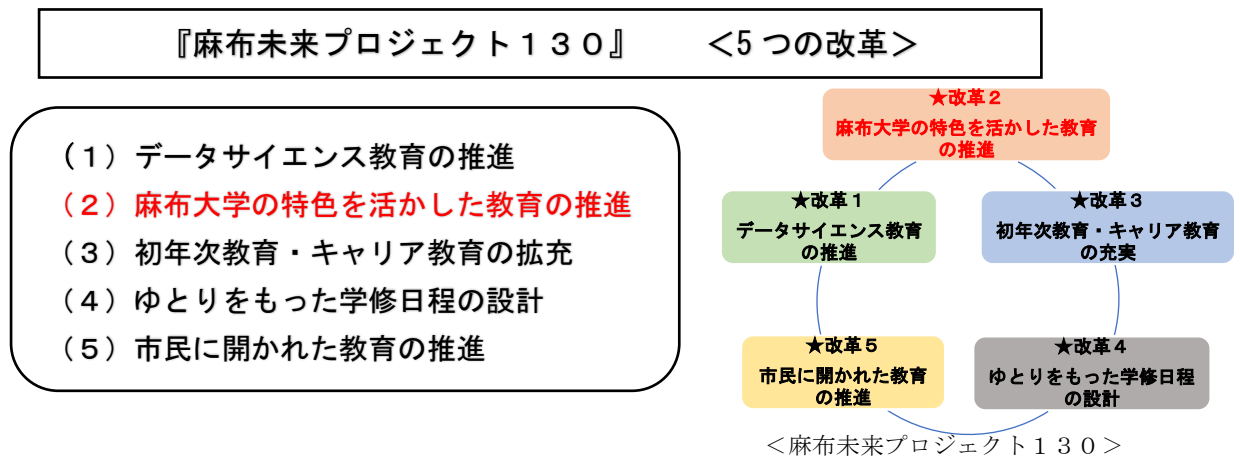
2020年2月14日

**麻布大学、「麻布未来プロジェクト130」で
全学共通科目「地球共生系教育科目群」を設置**

麻布大学

麻布大学(学長:浅利昌男、本部:神奈川県相模原市、URL:<https://www.azabu-u.ac.jp/>)は2020年(令和2年)9月に創立130周年を迎えます。これを機に開始する麻布教育改革プロジェクト『麻布未来プロジェクト130』の一環として、本学の教育理念である「地球共生系 OneHealth」を軸に、新しい時代に向けた人材育成を強化します。

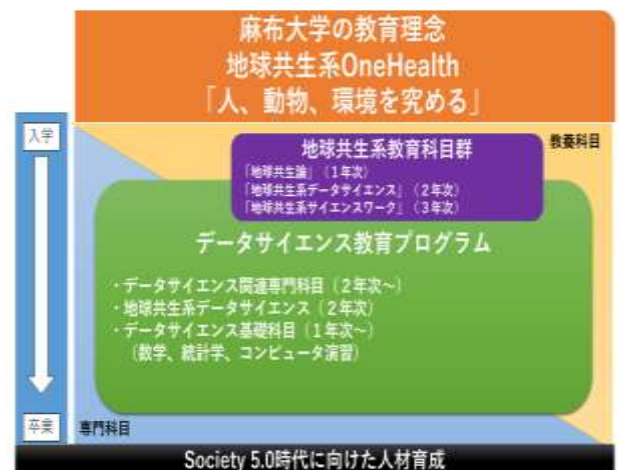
本学は「人、動物、環境」をテーマに専門的な教育研究を行う理系大学として、その特色を活かした教育を更に進化させるために「地球共生系教育科目群」を設置します。具体的には、新たな全学共通科目として講義と演習を併用する「地球共生系データサイエンス」および「地球共生系サイエンスワーク」をそれぞれ設置し、2020年より開講する準備を進めています。


★改革2 麻布大学の特色を活かした教育の推進

麻布大学では2012年度から全学部全学科の1年生を対象とした共通プログラムとして「地球共生論」を設置し「地球環境の中で人と動物がどのように共生できるか」ということをテーマにした教育を展開してきました。

また、これに関連して、2016年より文部科学省の私立大学研究ブランディング事業に採択され、「動物共生科学の創生による、ヒト健康社会の実現」というテーマで「人と動物がどのように共生できるか」について研究を推進しています。

今回の「麻布未来プロジェクト130」では、麻布大学がこれまで行ってきた「地球共生」に関する教育・研究をより一層発展させるために、全学共通の授業科目群「地球共生系教育科目群」を設置します。

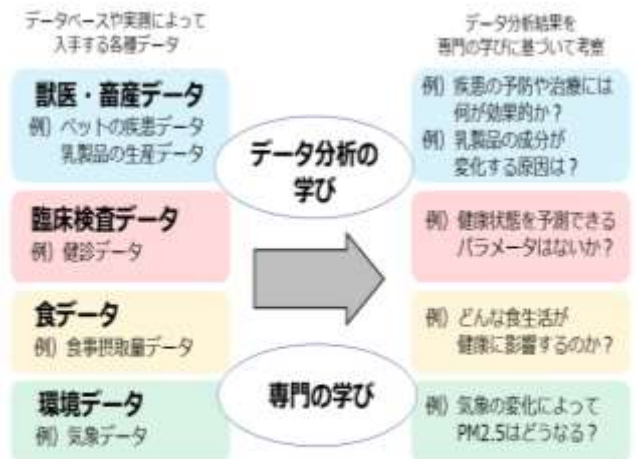


- 1年次に開講する「地球共生論」は、麻布大学概論としての位置づけを持っています。複数学科の学生が、学科の垣根を越え1つの講義室で受講します。学長をはじめ全学科の教員が教授し、「獣医学」「動物応用科学」「臨床検査学」「食品科学」「環境科学」それぞれの観点から、学生が各学科での学びが地球共生にどのように活かされているかを学びます。そして、5学科の各分野から学びを受けることで、地球共生の概念を学生が体得することを目指します。



地球共生論：ヒトと動物と環境の共生を学ぶ

- 2年次に開講する「地球共生系データサイエンス」は、改革1で本学が推進しているデータサイエンス教育プログラムの1つです。大学や実社会でデータサイエンスがどのように活かされているかを学ぶとともに、データサイエンティストが用いている解析プログラムを用いて、「獣医・畜産データ」「臨床データ」「食データ」「環境データ」を実際に分析します。単なるデータ分析だけでなく、各学科の学びに基づいた知識のもとでデータを分析していくことで、そのデータに専門性を踏まえた新たな価値を付加する方法を学んでいきます。



地球共生系データサイエンス：データサイエンス+各学科の学びでデータから新しい価値を見出す

- 3年次に開講する「地球共生系サイエンスワーク」は、私立大学研究ブランディング事業の研究結果をふまえたアクティブラーニング授業です。担当教員が地球共生に関わる研究成果を紹介することを通じて、学生が地球共生に関わる最新の知識や研究技術を学び、自らの卒業研究や「地球共生」の研究、あるいは将来の進路にどう生かしていくかを考えていきます。



麻布大学は、今回設置した「地球共生系教育科目群」を通じて、「地球共生を考えられる、造りあげられる人材」の育成を目指しています。地球共生の概念は、(全世界の人々が)持続可能でよりよい世界を目指す「SDGs」の概念と共通しており、「地球共生」すなわち、「人と動物と環境の共生」を体系的に学ぶことは、麻布大学にしかできない特色のある学びです。

学生が「地球共生」に関する最新の情報を学び、データサイエンスの観点から分析して新たな価値を見だし、自らの卒業研究に応用する、という経験をすることで、「地球共生」に関わる様々な事象を知識レベルや技術レベルで修得するだけでなく、「データ分析」「情報発信」「コミュニケーション能力」といった社会で必要な力を身につけることが期待できます。

<バックナンバー>

- ・麻布未来プロジェクト130 ★改革1 データサイエンス教育の推進

https://www.azabu-u.ac.jp/topics/2020/0124_27052.html

<関連情報>

●麻布大学について

本学は、獣医学部（獣医学科、動物応用科学科）と生命・環境科学部（臨床検査技術学科、食品生命科学科、環境科学科）の2学部5学科と大学院（獣医学研究科と環境保健学研究科）の教育体制に、学部生：2,519名、大学院生：91名が学んでいます（2019年5月1日現在）。1つのキャンパス内（神奈川県相模原市）で、人・動物・環境に関する教育・研究を実施している国内唯一の大学です。

●麻布大学研究ブランディング事業

麻布大学研究ブランディング事業とは、文部科学省私立大学研究ブランディング事業をベースに全学的な独自色を大きく打ち出すための機能強化を促進する研究支援事業です。本事業では世界にも類をみない本学の「地球共生系～人と動物と環境の共生を目指して～」という教育研究理念を背景に、本学の獣医学部と生命・環境科学部にある獣医学科・動物応用科学科、臨床検査技術学科・食品生命科学科・環境科学科の5学科を横断的に繋ぎ、「人と動物の共生を科学する大学」という麻布大学ブランドの確立を目指しています。 <https://project.azabu-u.ac.jp/>

<参考情報>

- 麻布大学の沿革

<https://www.azabu-u.ac.jp/about/history.html>

- 麻布大学の概要

<https://www.azabu-u.ac.jp/about/feature02.html>

- ICT教育の取り組みについて（方針）

https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/ict.html

- 本件のお問い合わせ先

麻布大学 広報課 担当：栗末、有嶋

・電話：042-769-2032、メール：koho@azabu-u.ac.jp

・HP <https://www.azabu-u.ac.jp/>